

倫理審査委員会議事

1. 日時 平成29年12月21日(木) 15:18 ~ 15:40
2. 場所 ミーティングルーム
3. 出席者 副院長、精神科医師(長嶋先生)、事務部長、看護部長、薬剤科長、矢崎外部委員、三好外部委員
庶務班長(書記)

※委員の3分の2以上の出席がありましたので委員会を開催

4. 要旨

課題名 精神科訪問看護を導入した患者のQOLの評価
(申請者 看護師(訪問看護) 山本 かおり)

申請者

○ 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

○ 1人の患者にインタビューするのは1回だけですか。

申請者

○ 1回です。45分で1000項目です。

委員

○ 高まったかどうかは1回では分からないように思うのですが。

申請者

○ 今回は評価だけ行い、次回の研究で高まっているかどうかを調査します。

委員

○ なぜ実施期間を1月末で切ったのですか。

申請者

○ 今年度に研究をまとめるため、今回は実態調査になります。

委員

○ 評価尺度は、一般的な尺度を利用するのですか。

申請者

○ そうです。

委員

○ 対象人数を5名だけにしたのも実施期間との関係からですか。

申請者

○ そうです。

委員

○ 回答したくない質問があれば未回答でもよいのですか。

申請者

○ はい。

委員

○ 実施期間が1月末の記載と2月末の記載とがあるがどちらなのか。

申請者

○ 1月末です。

委員

○ 継続して研究していくのですか。

申請者

○ はい。

委員

○ 説明書にはインタビュー時間が30分と記載がありますが、申請書には45分とありますがどちらなのでしょう。

申請者

○ 45分です。

【審査結果】

議題 精神科訪問看護を導入した患者のQOLの評価
承認してよろしいか。
→申請書内の軽微な修正をもって承認とする。

課題名 精神科看護実習における看護学生の精神障害者に対するイメージの
変化の関連要因の検討
(申請者 看護師(2-2病棟) 石橋 愛) (共同担当者の須藤
さんが説明)

申請者

○ 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

○ 資料7のアンケートは、何か元になるようなものがあったのですか。

申請者

○ 自分たちで考えたものです。

委員

○ 障害者に対するイメージの変化というよりは、不安がなくなるよう
な研究のように思えるのですが。

申請者

○ 実習自体の不安があるのではないかというところで、こういった関
わりで不安を軽減できるのかを知りたいと考えております。

委員

○ 資料6では、前後で調査し、イメージがマイナスからプラスになる
ことをあぶり出すのですか。

申請者

○ そうです。

委員

○ 資料7の問の中で指導者(問4, 7, 8, 11)、担当教員(問9,
14, 15)、指導者係(問12, 13)は全員同じ人なのですか。

申請者

○ 指導者は、病棟看護師です。担当教員は、看護学校の教員を指しま
す。指導者係は、全体的な指導者を指します。係は削除します。

委員

○ 目標症例数はどれくらいですか。

申請者

○ 50症例前後です。

委員

○ 折角匿名化の対応表を作ったのであれば、これを鍵のかかるところ
で保管すればよいかと思えます。

申請者

○ 施錠可能なロッカーで保管します。保管場所が7病棟となっていま
すが2-2病棟に修正します。

委員

○ 配慮していると思うのですが、看護学生は一般的に教えてもらう立
場なので、撤回とか同意しないとかきっちりできるように強調して
もらえればよいかと思えます。

申請者

○ その点について、学生には最初の時点、纏まっている時に説明して
書いてもらおうとすると、同意をしない学生がその間待つことになっ
てしまうという指摘がありまして、配る際にアンケートには番号を振
って、回答しない学生には、時間的な不利や心理的な負担を与えない
ようしようと思っております。

【審査結果】

議題 精神科看護実習における看護学生の精神障害者に対する
イメージの変化の関連要因の検討
承認してよろしいか。
→申請書内の軽微な修正をもって承認とする。

以 上